

# 決算概要

2022年5月18日

常務取締役 経営企画本部長

余語 岳仁

# 目次

新型コロナウイルス等の事業への影響	2
2021 年度 業績	3
販売費および一般管理費	4
新収益認識基準適用・為替影響を除いた損益比較	5
事業セグメント別 売上高・営業利益	6
セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）	7
セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）	8
セグメント業績 - ②医薬関連事業	9
セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業	10
セグメント別・製品群別の売上高	11
セグメント別・地域別の売上高	12
製品分類表	13
製商品別売上高	14、15
為替感応度	16
設備投資額・減価償却費	17
主要会社別 期中の設備投資	18
通期予想	19
中期経営計画における主要 KPI	20、21

# 新型コロナウイルス等の事業への影響

## 製造・購買・物流

今年度の工場稼働停止およびダイアライザライン(中国合肥、インド)の新設予定は下記。その他の国内外工場は通常稼働。

2021						2022												
6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
タイ コロナ感染者増加 6/2稼働停止 6/10 段階的に稼働再開	タイ 7/1全面稼働  ベトナム コロナ感染者増加 7/15 稼働停止			ベトナム 10/18 段階的に稼働再開					中国上海 ロックダウン 中旬以降 段階的に稼働停止	インド ダイアライザ新規ライン 工事再開予定  中国上海 4/1完全稼働停止 再開未定								インド ダイアライザ新規ライン 稼働予定  中国合肥 ダイアライザ新規ライン 稼働予定

## 販売

- 透析用医療機器 : ダイアライザは日本、中国、中南米で堅調、欧州とアジアが軟調、透析センターは中南米で伸張
- 循環器用医療機器 : カテーテルは手術件数がコロナ前まで回復しない中、新製品等が好調で、販売は前年比で伸長
- 外科用医療機器 : 補助心臓と人工肺はコロナ需要が継続も、整形外科製品はコロナの影響により需要が減少
- 医療用消耗品 : コロナ需要は直近減少傾向も、通期では前年と同水準を維持
- 自社医薬品 : 他社製品の品質問題から、剤形問わず市場全体の需要が逼迫しており、販売が増加
- 受託医薬品 : 抗菌薬の在庫調整も収束し、下期の販売は市場全体の需要増により回復傾向
- ファーマパッケージング : 中国・欧米でのワクチン向けバイアル、欧州でのバイオ製剤用シリンジの需要が強く、販売は堅調

## 臨床試験

臨床試験の実施や承認申請への大きな影響はなし

## ロシアとウクライナの事業への影響

- 販売 : ロシアは前払い対応のみで販売に影響なし、ウクライナは出荷不可で販売停止
- 関連会社 : 医療機器モスクワ販社(従業員4名)は影響なし、PPウラル製造販売会社(従業員131名)も影響なし
- 国際物流 : ロシア向けの輸送はウラジオストック港からシベリア鉄道利用

## ウクライナ人道支援のための取り組みについて(3月22日)

ウクライナの方々への人道支援および周辺に避難された方々の救援活動等を目的として、日本赤十字社を通じて義援金の寄付、ウクライナ大使館を通じて医療機器等を無償提供



# 2021年度 業績

	2020年度	2021年度	増減額 (増減率)	通期予想 (達成率)	2022年度 通期予想	四半期別業績推移				
						2020年度	2021年度			
						4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,555.5	<b>4,947.8</b> (※1)	+392.3 +8.6%	4,950.0 100.0%	5,400.0	1,144.7	1,180.0	1,241.1	1,272.3	<b>1,254.3</b>
売上原価	3,167.1	<b>3,455.1</b>	+288.0 +9.1%	3,430.0 100.7%	3,707.0	809.2	817.9	866.2	886.2	<b>884.8</b>
売上総利益 (※2)	1,388.4 30.5%	<b>1,492.6</b> 30.2%	+104.2 +7.5%	1,520.0 98.2%	1,693.0 31.4%	335.5 29.3%	362.0 30.7%	374.9 30.2%	386.1 30.3%	<b>369.4</b> 29.5%
販売管理費	1,112.1 24.4%	<b>1,253.8</b> 25.3%	+141.7 +12.7%	1,245.0 100.7%	1,418.0 26.3%	290.3 25.4%	306.9 26.0%	301.4 24.3%	317.4 24.9%	<b>328.0</b> 26.2%
営業利益	276.2 6.1%	<b>238.8</b> 4.8%	△37.4 △13.6%	275.0 86.8%	275.0 5.1%	45.2 3.9%	55.1 4.7%	73.4 5.9%	68.7 5.4%	<b>41.4</b> 3.3%
経常利益 (※3)	262.6 5.8%	<b>275.8</b> 5.6%	+13.1 +5.0%	267.0 103.3%	266.0 4.9%	65.5 5.7%	52.3 4.4%	72.0 5.8%	81.1 6.4%	<b>70.3</b> 5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	142.0 3.1%	<b>134.5</b> 2.7%	△7.5 △5.3%	148.0 90.9%	156.0 2.9%	38.3 3.3%	33.0 2.8%	40.0 3.2%	37.3 2.9%	<b>24.1</b> 1.9%
IFRSに準拠した場合の 当期純利益(概算額)	173.1	<b>160.5</b>	△12.6 △7.3%	182.0 88.2%	185.0					

(※1) 新収益認識基準適用による影響額は売上高で△21.8億円、営業利益で1.1億円

(※2) 売上総利益への未実現利益の影響額  
 2020年度 3.7億円  
 2021年度 △21.7億円

(※3) 為替損益  
 2020年度 +8.5億円  
 2021年度 +48.3億円

- **売上高** 新型コロナウイルスによる需要低下が落ち着いたことに加え、一部製品でコロナ需要が継続し売上高は増加
- **売上総利益** 1Qの前年度期末賞与の追加支給、4Qの未実現利益の影響、4Qの材料費高騰から、売上総利益率が減少
- **営業利益** 人件費、運送費、販促費の増加が大きく、営業利益は減少
- **経常利益** 為替損益が39.7億円改善したことにより、経常利益は増加
- **当期純利益** 前年に米統括子会社の連結納税開始により税負担軽減が発生していたことから、当期の純利益は対前年で減少

# 販売費および一般管理費

## 【販売費および一般管理費】

単位:億円	2020年度	2021年度		増減	増減率	2022年度 通期予想
		実績	構成比			
人件費	361.3	411.9	32.9%	+50.6	+14.0%	442.5
研究開発費	183.6	184.6	14.7%	+1.0	+0.5%	197.5
運送費	98.6	126.5	10.1%	+27.9	+28.3%	215.0
償却費(※1)	107.8	117.0	9.3%	+9.2	+8.5%	108.0
販促費(※2)	66.6	82.3	6.6%	+15.7	+23.6%	92.0
旅費交通費	25.4	33.3	2.7%	+7.9	+31.1%	34.0
保管料	28.8	30.6	2.4%	+1.8	+6.3%	27.0
その他	239.7	267.2	21.3%	+27.5	+11.5%	302.0
合計	1,112.1	1,253.8	100.0%	+141.7	+12.7%	1,418.0

(※1) 減価償却費・のれん償却費・開発償却費

(※2) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

### ●販売費および一般管理費

人件費	透析センター、企業買収による人員増に伴い増加
運送費	船便等費用の高騰が続いており、大きく増加
販促費	営業活動再開により販売手数料、広告宣伝費等が増加

### ●研究開発費

医療	開発企業買収に伴い、透析情報管理システムの開発費が増加するも、全体としては前年比減少
医薬	経口剤関連の開発費用が増加

## 【研究開発費(連結)】

単位:億円	2020年度	2021年度	通期予想 (進捗率)	2022年度 通期予想
医療	87.9	85.7	84.0 102.0%	89.5
医薬	98.5	101.5	106.0 95.8%	108.0
合計	186.5	187.3	190.0 98.6%	197.5

# 新収益認識基準適用・為替影響を除いた損益比較

	2020年度	2021年度	新収益認識基準 適用の影響	為替の影響 (※1)	影響を除いた 2021年度	増減率
単位：億円	[a]	[b]	[c]	[d]	[e=b-c-d]	[e÷a]
売上高	4,555.5	4,947.8	△21.8	+80.9	4,888.7	+7.3%
売上原価	3,167.1	3,455.1	△20.7	+26.3	3,449.5	
売上総利益	1,388.4	1,489.1	△1.1	+54.6	1,435.6	+3.4%
(%)	30.5%	30.1%			29.4%	
販管費	1,112.1	1,253.8	+0.0	+18.2	1,235.6	
営業利益	276.2	238.8	△1.1	+36.4	203.5	△26.3%
(%)	6.1%	4.8%			4.2%	
営業外収益	55.3	105.2	+0.0	+39.7	65.5	
営業外費用	68.9	68.2	+0.0		68.2	
経常利益	262.6	275.8	△1.1	+76.1	200.8	△23.5%
特別利益	28.7	8.4	+0.0		8.4	
特別損失	116.2	51.8	+0.0		51.8	
税引前利益	175.1	232.4	△1.1	+76.1	157.4	△10.1%
法人税等	24.8	81.7	△0.0	+26.8	55.0	
非支配株主に 帰属する純利益	8.2	16.0			16.0	
当期利益	142.0	134.5	△1.1	+49.3	86.2	△39.3%

(※1) 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算

期中平均レート	2020年度	2021年度
	1~12月	1~12月
1 USD	106.43	110.37
1 EUR	121.97	130.34
1 中国元	15.42	17.12

# 事業セグメント別 売上高・営業利益

## 売上高

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2021年度予想】	【2022年度予想】
医療関連事業	2021年度	3,734.8	+296.5	+8.6%	3,725.0	4,095.0
	2020年度	3,438.2				
医薬関連事業	2021年度	743.8	+19.9	+2.8%	749.3	790.0
	2020年度	723.8				
ファーマパッケージング事業	2021年度	463.6	+77.0	+19.9%	472.4	512.0
	2020年度	386.5				

## 営業利益

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2021年度予想】	【2022年度予想】
医療関連事業	2021年度	392.4	+3.6	+0.9%	392.4	407.0
	2020年度	388.7				
医薬関連事業	2021年度	98.2	△7.8	△7.4%	92.4	99.0
	2020年度	106.0				
ファーマパッケージング事業	2021年度	28.8	+8.9	+45.0%	35.0	33.0
	2020年度	19.9				

### 【2021年度新収益認識基準適用による影響額】

売上高			
医療関連事業	:	△1,851百万円	
医薬関連事業	:	△ 219百万円	
ファーマパッケージング事業	:	△ 114百万円	計△2,185百万円
営業利益			
医療関連事業	:	△ 111百万円	
医薬関連事業	:	△ 2百万円	
ファーマパッケージング事業	:	△ 0百万円	計△ 114百万円

# セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2021年度予想】	【2022年度予想】
国内事業	2021年度	2,025.8	+93.2	+4.8%	2,042.8	2,220.0
	2020年度	1,932.6				
医療機器	2021年度	1,152.1	+42.9	+3.9%	1,157.8	1,258.5
	2020年度	1,109.2				
医薬品	2021年度	873.7	+50.3	+6.1%	885.0	961.5
	2020年度	823.4				
ダイアライザ	2021年度	220.5	+3.4	+1.6%	224.0	229.6
国内売上高	2020年度	217.1				

- **医療機器**

ダイアライザは、販売が堅調に推移

透析装置は、新収益認識基準により、前年比で代理人取引販売が減少

カテーテル類は、手術件数が回復傾向にあるものの、まだコロナ前の水準にまでには戻っていない中、主力製品の薬剤溶出バルーンや新製品のPTAバルーンカテーテルの販売が増加し、前年比では大きく伸長

注射針類は、政府向けワクチン接種用シリンジ・針の販売により、販売が増加

輸液関連製品は、前年に比べコロナの影響が緩和したことにより、販売が増加
- **国内医薬**

他社製品の供給停止等の影響を受け、剤形問わず、全体的に需要拡大により、販売が増加



# セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2021年度予想】	【2022年度予想】
国際事業	2021年度	1,667.9	+197.4	+13.4%	1,645.2	1,828.0
	2020年度	1,470.5				
B2B(他社ブランド)	2021年度	216.5	+5.8	+2.8%	231.5	229.9
	2020年度	210.7				
ニプロブランド	2021年度	1,451.3	+191.5	+15.2%	1,413.7	1,598.0
	2020年度	1,259.8				
アメリカ	2021年度	620.5	+47.3	+8.3%	605.7	694.1
	2020年度	573.2				
ヨーロッパ	2021年度	379.1	+58.8	+18.4%	388.0	359.8
	2020年度	320.3				
アジア	2021年度	246.0	+29.1	+13.4%	237.7	289.4
	2020年度	216.9				
中国	2021年度	205.6	+56.4	+37.8%	182.3	254.6
	2020年度	149.2				
ダイアライザ 海外 売上高	2021年度	545.3	+49.7	+10.0%	542.2	582.0
	2020年度	495.6				

## ●B2B

翼状針・インスリン用針の販売が堅調に推移

## ●ニプロブランド

ダイアライザの数量は、中国では引き続き大きく伸長傾向  
 中南米では、2Qで前年並みに回復し3Q以降は前期比増加に転じた  
 欧州では、3Q単体では一時的に前年並みに回復するも軟調に推移

その他については、中南米を中心に透析センターの開設が進み、売上が大きく伸長  
 北中南米・アジアで医療機関による治療件数の回復に加え、ワクチン向け需要に伴い、  
 シリンジの販売が増加、アジア・中国で透析装置の買い控えが落ち着き、販売が回復



# セグメント業績 - ② 医薬関連事業

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2021年度予想】	【2022年度予想】
医薬関連事業	2021年度	743.8	+19.9	+2.8%	749.3	790.0
	2020年度	723.8				
＜ 受託売上高内訳 ＞						
ジェネリック品	2021年度	399.1	△6.1	△1.5%	408.5	400.6
	2020年度	405.2				
先発品	2021年度	257.0	+17.3	+7.2%	253.7	289.8
	2020年度	239.7				
OTC 原薬他	2021年度	40.0	△0.6	△1.5%	42.1	46.7
	2020年度	40.6				
JMIファーマ	2021年度	47.5	+9.3	+24.3%	45.1	52.9
	2020年度	38.2				

- ジェネリック品      コロナの影響に伴う顧客の在庫調整や販売終了品目の受注減により、販売が減少
- 先発/長期収載品      コロナワクチンを中心とした新規製剤の受託により、販売が増加
- OTC/原薬他      前年は、受託品の試製造やバリデーション実施が集中したことにより、前年比では売上が減少
- JMIファーマ      営業人員を増強して販路拡大したことにより、販売が増加

# セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2021年度予想】	【2022年度予想】
ファーマパッケージング事業	2021年度	463.6				
	2020年度	386.5	+77.0	+19.9%	472.4	512.0
< 地域別売上高内訳 >						
日本	2021年度	115.1				
	2020年度	111.8	+3.3	+3.0%	108.9	111.0
海外	2021年度	348.4				
	2020年度	274.7	+73.7	+26.8%	363.5	401.0
ヨーロッパ	2021年度	170.4				
	2020年度	136.4	+34.0	+24.9%	177.1	195.5
アメリカ	2021年度	94.6				
	2020年度	88.2	+6.4	+7.3%	96.4	105.0
中国	2021年度	71.0				
	2020年度	38.5	+32.5	+84.4%	78.6	87.0
インド	2021年度	12.3				
	2020年度	11.4	+0.9	+7.9%	11.5	13.5

- **日本** 前年は、ワクチン向けバイアル用として生地管販売の特需があったことと、今年は、抗菌薬や風邪薬を対象にした製薬メーカーの在庫調整に伴い、バイアル加工メーカーからの生地管の受注が減少したことにより、販売が減少一方で、医療機器関連でデンタル針・歯科用麻酔剤の販売が回復  
ゴム栓・栓体は、前年4Qに製薬メーカーの在庫調整により、一時的に販売が減少していたが、今年は回復
- **海外** 中国・欧米でのワクチン向けバイアル、中国でのワクチン向けシリンジ、欧州でのバイオ製剤用シリンジの販売が堅調  
さらに今年、クロアチア企業の買収により、欧州でのアンプルの販売が増加

# セグメント別・製品群別の売上高

セグメント 製品	単位：億円	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパケ ージング事業	その他 事業	合計
医療機器	2021年度	2,780.9	0.0	30.6	0.0	2,811.5
	2020年度	2,553.9	0.0	(※3) 28.0	0.0	2,582.0
医薬品	2021年度	953.1	743.8	4.3	0.0	1,701.4
	2020年度	(※1) 883.4	(※2) 723.8	3.2	0.0	1,610.5
ファーマ パッケージング	2021年度	0.2	0.0	427.3	0.0	427.6
	2020年度	0.2	0.0	354.1	0.0	354.4
その他	2021年度	0.4	0.0	1.1	5.5	7.2
	2020年度	0.5	0.0	1.0	6.9	8.5
合計	2021年度	3,734.8	743.8	463.6	5.5	4,947.8
	2020年度	3,438.2	723.8	386.5	6.9	4,555.5

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

# セグメント別・地域別の売上高

セグメント 地域		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマッケー ジング事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
日本	2021年度	1,989.8	690.6	114.8	5.5	2,800.9
	2020年度	1,910.4	677.9	110.2	6.7	2,705.4
海外計	2021年度	1,744.9	53.1	348.7	0.0	2,146.9
	2020年度	1,527.7	45.9	276.3	0.1	1,850.1
アメリカ	2021年度	691.4	0.2	90.7	0.0	782.4
	2020年度	631.5	0.0	84.1	0.0	715.7
ヨーロッパ	2021年度	430.4	3.1	170.1	0.0	603.7
	2020年度	383.7	4.3	133.4	0.1	521.6
中国	2021年度	259.9	0.3	66.7	0.0	327.0
	2020年度	193.5	1.0	38.5	0.0	233.1
その他アジア	2021年度	363.1	49.3	21.2	0.0	433.7
	2020年度	318.9	40.5	20.1	0.0	379.5
合計	2021年度	3,734.8	743.8	463.6	5.5	4,947.8
	2020年度	3,438.2	723.8	386.5	6.9	4,555.5

●地域別 2021年度4Qの地域別売上高比率は国内56.6%、海外43.4%であり、国内、海外ともに、各地域売上高は堅調に推移

●セグメント別 国内、海外ともに医療関連事業のダイアライザや注射針類、医薬品事業(自社)の注射剤・輸液、ファーマパッケージング事業のバイアル・シリンジが堅調であり、各地域の売上高は前年比を上回った

# 製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキューラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカヌラ 他
検査製品	ネオチューブ、採血針 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（ブローバック、スクリュー、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子その他など

# 製商品別売上高（1）

事業分類	単位：億円	全社				海外				日本			
		2020年度	2021年度	増減額	増減率	2020年度	2021年度	増減額	増減率	2020年度	2021年度	増減額	増減率
【医療機器】	ダイアライザ	712.7	765.8	+53.1	+7.5%	495.6	545.3	+49.7	+10.0%	217.1	220.5	+3.4	+1.6%
	透析機器	198.9	212.4	+13.4	+6.8%	99.3	131.4	+32.0	+32.3%	99.6	81.0	△18.6	△18.7%
	その他透析関連	313.7	352.0	+38.2	+12.2%	239.0	274.0	+35.0	+14.6%	74.6	77.9	+3.2	+4.4%
	<b>透析関連製品計</b>	<b>1,225.5</b>	<b>1,330.3</b>	<b>+104.8</b>	<b>+8.6%</b>	<b>834.0</b>	<b>950.8</b>	<b>+116.7</b>	<b>+14.0%</b>	<b>391.4</b>	<b>379.5</b>	<b>△11.9</b>	<b>△3.0%</b>
	注射針類	349.6	413.9	+64.2	+18.4%	208.2	258.1	+49.8	+23.9%	141.3	155.8	+14.4	+10.2%
	バスキュラー関連製品	288.3	319.9	+31.6	+11.0%	35.2	47.1	+11.9	+33.7%	253.0	272.7	+19.7	+7.8%
	輸液関連製品	150.3	167.0	+16.7	+11.1%	49.4	54.1	+4.7	+9.5%	100.8	112.8	+11.9	+11.9%
	検査製品	97.9	110.4	+12.4	+12.7%	65.3	76.1	+10.8	+16.6%	32.6	34.3	+1.6	+5.1%
	糖尿病関連製品	87.6	89.6	+1.9	+2.2%	71.9	74.8	+2.9	+4.1%	15.7	14.7	△1.0	△6.5%
	SD関連製品	37.0	37.5	+0.5	+1.4%	4.8	7.5	+2.7	+56.4%	32.1	29.9	△2.2	△6.9%
	その他	341.3	340.1	△1.2	△0.4%	197.9	195.9	△1.9	△1.0%	143.4	144.1	+0.6	+0.5%
<b>部門計</b>	<b>2,577.8</b>	<b>2,808.9</b>	<b>+231.1</b>	<b>+9.0%</b>	<b>1,467.0</b>	<b>1,664.8</b>	<b>+197.8</b>	<b>+13.5%</b>	<b>1,110.8</b>	<b>1,144.1</b>	<b>+33.3</b>	<b>+3.0%</b>	
【医薬品(自社)】	経口剤	382.4	391.5	+9.0	+2.4%	0.1	0.2	+0.1	+75.2%	382.3	391.2	+8.9	+2.3%
	注射剤・輸液	355.2	403.5	+48.2	+13.6%	58.0	76.3	+18.3	+31.7%	297.2	327.1	+29.8	+10.1%
	外用剤・貼付剤	52.7	66.3	+13.6	+25.9%	-	-	-	-	52.7	66.3	+13.6	+25.9%
	その他・体外診断薬等	92.9	91.7	△1.2	△1.4%	2.0	3.1	+1.0	+49.5%	90.8	88.5	△2.2	△2.5%
	<b>部門計</b>	<b>883.4</b>	<b>953.1</b>	<b>+69.6</b>	<b>+7.9%</b>	<b>60.2</b>	<b>79.7</b>	<b>+19.5</b>	<b>+32.4%</b>	<b>823.2</b>	<b>873.3</b>	<b>+50.1</b>	<b>+6.1%</b>
【医薬品(受託)】	経口剤	292.1	294.4	+2.3	+0.8%	1.5	1.0	△0.4	△31.5%	290.6	293.4	+2.7	+1.0%
	注射剤・輸液	314.2	324.3	+10.1	+3.2%	1.0	2.2	+1.2	+118.8%	313.2	322.1	+8.9	+2.8%
	外用剤・貼付剤	57.0	55.2	△1.8	△3.2%	1.7	0.8	△0.8	△52.2%	55.3	54.4	△0.9	△1.7%
	その他・体外診断薬等	25.3	26.5	+1.2	+4.8%	3.4	1.5	△1.8	△54.9%	21.9	25.0	+3.0	+14.0%
	<b>部門計</b>	<b>688.8</b>	<b>700.6</b>	<b>+11.8</b>	<b>+1.7%</b>	<b>7.6</b>	<b>5.6</b>	<b>△2.0</b>	<b>△26.4%</b>	<b>681.1</b>	<b>695.0</b>	<b>+13.8</b>	<b>+2.0%</b>
【医薬品(JMIP)】	経口剤	37.7	47.0	+9.2	+24.4%	37.7	47.0	+9.2	+24.4%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.4	0.5	+0.1	+26.0%	0.4	0.5	+0.1	+26.0%	-	-	-	-
	<b>部門計</b>	<b>38.2</b>	<b>47.5</b>	<b>+9.3</b>	<b>+24.4%</b>	<b>38.2</b>	<b>47.5</b>	<b>+9.3</b>	<b>+24.4%</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

# 製商品別売上高（2）

事業分類		全社				海外				日本			
		2020年度	2021年度	増減額	増減率	2020年度	2021年度	増減額	増減率	2020年度	2021年度	増減額	増減率
単位：億円													
【ファーマ パッケージング】	生地管関連	94.3	94.7	+0.4	+0.5%	71.9	73.6	+1.7	+2.4%	22.4	21.1	△1.3	△5.8%
	アンブル硝子	37.9	50.1	+12.1	+31.9%	37.8	49.9	+12.1	+32.1%	0.1	0.1	0.0	△10.4%
	バイアル硝子	121.0	166.8	+45.8	+37.9%	104.0	149.8	+45.8	+44.0%	16.9	17.0	0.0	+0.3%
	シリンジ硝子	43.5	53.7	+10.2	+23.5%	43.5	53.5	+9.9	+22.9%	0.0	0.2	+0.2	+1293.5%
	ゴム栓・栓体類	17.6	17.6	0.0	△0.4%	5.9	5.0	△0.8	△15.0%	11.7	12.5	+0.8	+7.0%
	プラスチック容器	19.9	20.1	+0.2	+1.2%	1.4	0.0	△1.4	△94.7%	18.4	20.1	+1.6	+8.8%
	魔法瓶	4.3	3.8	△0.5	△11.7%	-	-	-	-	4.3	3.8	△0.5	△11.7%
	その他	15.5	20.5	+4.9	+31.9%	11.6	16.5	+4.8	+41.4%	3.8	4.0	+0.1	+3.4%
部門計		354.4	427.6	+73.2	+20.7%	276.4	348.6	+72.2	+26.1%	78.0	79.0	+1.0	+1.3%
【再生医療】	再生医療等製品	4.2	2.6	△1.6	△38.4%	-	-	-	-	4.2	2.6	△1.6	△38.4%
【その他】	生産機械販売・不動産賃貸	8.5	7.2	△1.3	△15.6%	0.5	0.4	△0.1	△17.7%	7.9	6.7	△1.2	△15.4%
連結合計		4,555.5	4,947.8	+392.3	+8.6%	1,850.1	2,146.9	+296.7	+16.0%	2,705.4	2,800.9	+95.5	+3.5%



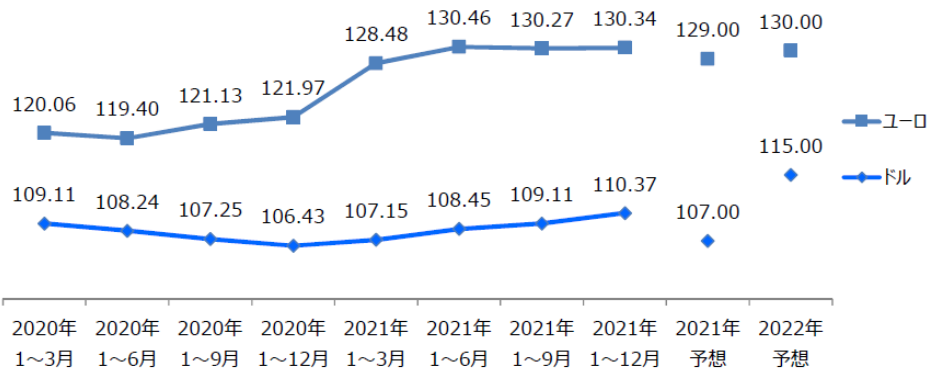
# 為替感応度

【1円変動による年間影響額】

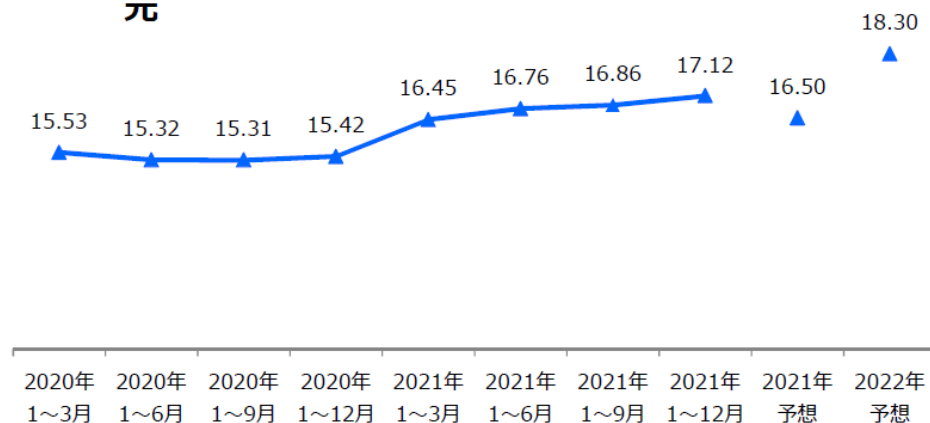
	ドル	ユーロ	元
売上高	5.9	3.5	14.3
営業利益	0.7	1.7	11.4

【期中平均レート】

ドル・ユーロ



元



# 設備投資額・減価償却費

	設備投資額 (※)				減価償却費			
	2020年度	2021年度	2021年度 通期予想 (進捗率)	2022年度 通期予想	2020年度	2021年度	2021年度 通期予想 (進捗率)	2022年度 通期予想
単位：億円								
医療関連	327.3	171.2	198.5 86.2%	311.7	183.0	201.1	207.5 96.9%	192.0
医薬関連	132.8	220.9	200.5 110.2%	182.5	121.6	133.9	141.0 95.0%	141.0
ファーマパッケージング	39.1	43.4	95.5 45.4%	123.0	42.4	48.2	45.0 107.1%	52.5
その他	20.4	30.0	33.5 89.6%	15.0	51.3	49.7	34.0 146.2%	36.5
合計	519.8	465.6	528.0 88.2%	632.2	398.4	433.1	427.5 101.3%	422.0

(※) 設備投資額は検収ベース

## ● 2021年度実績

### 設備投資額

医療は前年に再生医療製造設備に関する投資があったこと、ダイライザの新ラインが未稼働のため大きく減少  
 医薬はニプロファーマ伊勢工場の新棟建設があり大きく増加  
 ファーマパッケージングはコロナによりフランス工場のガラス生地管増産設備の工期遅延から、進捗率が大きく低下

### 減価償却費

医療と医薬は今年度の設備投資に工期遅延があったものの、昨年度遅れていた設備稼働が始まりほぼ予算並み  
 同様にファーマパッケージングも昨年度の設備稼働が始まったことから、進捗率は予想を7.1%上回った

## ● 2022年度予想

### 設備投資額

医療では合肥とベトナムのダイライザ新規ライン増設および透析センター買収のため対前年で増加予想  
 医薬では近江工場の新設を予定するも対前年で減少予想  
 ファーマパッケージングではフランス工場の生地管増産、ドイツ工場のD2F<sup>®</sup>製造ライン増設のため大きく増加予想

# 主要会社別 期中の設備投資

会社名	金額 (単位: 億円)	主な内容
ニプロ	91.5	大館工場 22.4 ダイアライザ関連設備 等 埼玉研究所 2.6 研究棟改修工事
ニプロファーマ	205.0	大館工場 21.6 試験棟 増設工事 等 伊勢工場 141.8 新バイアル棟建設工事および製造設備、新シリンジ棟建設工事 等
ニプロメディカルコーポレーション	40.7	透析医療機器、透析クリニック不動産・設備 等
ニプロタイランドコーポレーション	21.8	血液回路組立装置、シリンジ組立機械 等
ニプロファーマパッケージングアメリカス	13.4	タンク拡張・修繕工事 等

# 通期予想

## 医療関連事業

内訳	単位：億円	2021年度 実績	2022年度 予想	増減額	増減率
国内					
医療機器		1,152.1	1,258.5	+106.4	9.2%
医薬品		873.7	961.5	+87.8	10.1%
国際					
B2B		216.5	229.9	+13.4	6.2%
アメリカ		620.5	694.1	+73.6	11.9%
ヨーロッパ		379.1	359.8	△19.3	-5.1%
アジア		246.0	289.4	+43.4	17.6%
中国		205.6	254.6	+49.0	23.8%
工場 直接販売		41.3	47.2	+5.9	14.3%
売上高計		3,734.8	4,095.0	+360.2	9.6%
売上総利益		1,237.5	1,352.0	+114.5	9.3%
(同率)		33.1%	33.0%	-	-
営業利益		392.4	407.0	+14.6	3.7%
(同率)		10.5%	9.9%	-	-

## 医薬関連事業

内訳	単位：億円	2021年度 実績	2022年度 予想	増減額	増減率
GE品		399.1	400.6	+1.5	0.4%
先発・長期収載品		257.0	289.8	+32.8	12.8%
OTC・原薬		40.0	46.7	+6.7	16.8%
JMIファーマ		47.5	52.9	+5.4	11.4%
売上高計		743.8	790.0	+46.2	6.2%
営業利益		98.2	99.0	+0.8	0.8%
(同率)		13.2%	12.5%	-	-

## ファーマパッケージング事業

内訳	単位：億円	2021年度 実績	2022年度 予想	増減額	増減率
日本		115.1	111.0	△4.1	-3.6%
ヨーロッパ		170.4	195.5	+25.1	14.7%
アメリカ		94.6	105.0	+10.4	11.0%
中国		71.0	87.0	+16.0	22.5%
インド		12.3	13.5	+1.2	9.8%
売上高計		463.6	512.0	+48.4	10.4%
営業利益		28.8	33.0	+4.2	14.6%
(同率)		6.2%	6.4%	-	-

### 売上高

国内の医療機器は、PTCAバルーンカテーテルや薬剤溶出ステント等のカテーテル製品、脊椎内固定器具(整形外科製品)、輸液関連製品の販売強化により、対前年106.4億円増収予想  
国内の医薬品は、他社製品の供給停止等の影響に伴う全体的な需要拡大により、対前年87.8億円増収予想  
アメリカでは、中南米を中心とした透析センターの開設やシリンジの販売増等により、対前年74.7億円増収予想  
アジアでは、ワクチン向けシリンジや輸液関連製品の販売増に加え、販売拠点開設による地域販売網の拡大により、対前年43.4億円増収予想  
中国では、ダイアライザや透析装置の販売強化により、対前年49.0億円増収予想

### 営業利益

原材料の値上がりに加え、前年に引き続き運送費の大幅な高騰が想定されることから、増益は確保も、営業利益率は減少予想

### 売上高

GE品は市場全体の需要拡大が継続も、販売中止品目の影響もあり、対前年では微減収予想  
先発・長期収載品では、新規製剤の受託により、対前年32.8億円増収予想  
OTC・原薬では、新規品の受託により、対前年6.7億円増収予想  
JMIファーマでは、販路拡大により、対前年5.4億円増収予想

### 営業利益

売上高は伸長するも、研究開発拠点の償却費負担が影響し、営業利益率は減少予想

### 売上高

ヨーロッパでは、ワクチン向けバイアルやバイオ製剤用シリンジの需要拡大により、対前年25.1億円増収予想  
アメリカでは、ワクチン向けバイアルの需要拡大により、対前年10.4億円増収予想  
中国では、ワクチン向けバイアルの需要拡大により、対前年16.0億円増収予想

### 営業利益

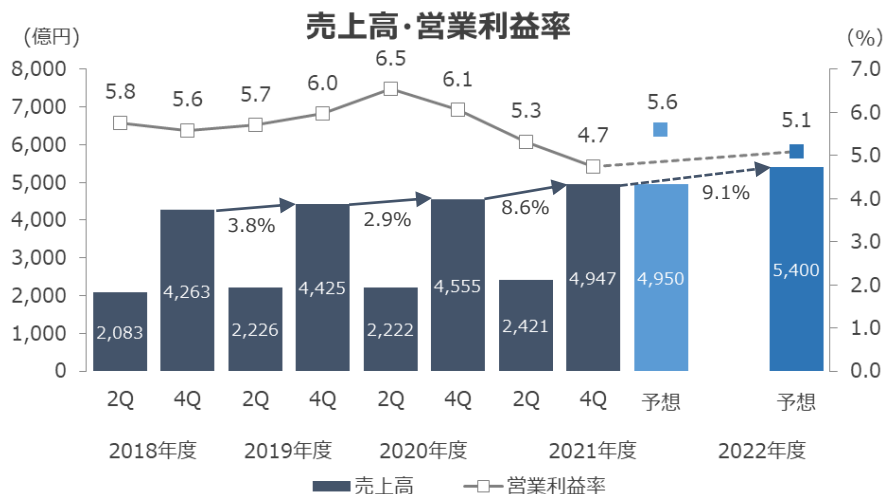
原材料と運送費の値上がりが予想されるも全体経費の抑制を図り、営業利益率は増加予想

# 中期経営計画における主要KPI - ①

## 2024年度に向けたガイドライン

成長性	売上高成長率	年平均7.0%以上
収益性	営業利益率	9.0%以上

財務健全性 EBITDA純有利子負債倍率 4倍台

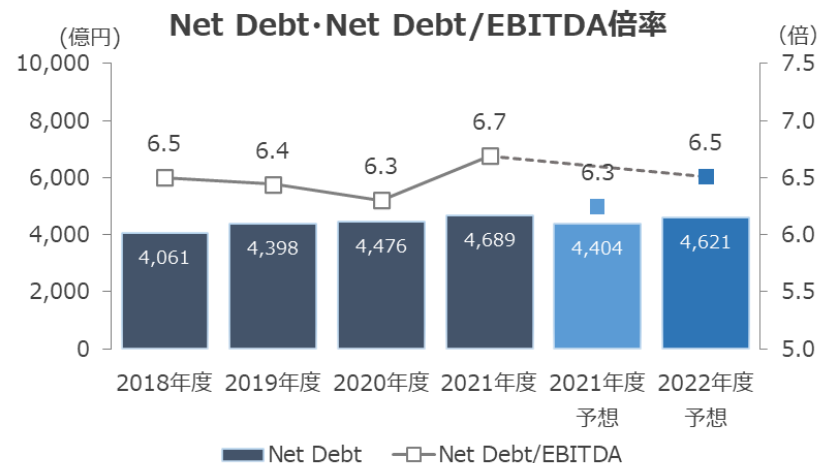


### 売上高成長率

2020年度はコロナ影響で売上成長が鈍化した要因もあり、2021年度までの売上高年平均成長率は5.7%とガイドラインを下回る進捗。2021年度単年では8.6%の成長。今後も売上高は堅調に推移し、2022年度は9.1%の売上高成長率を見込み、ガイドラインの年平均7.0%を目指す。

### 営業利益率

2018年度から2020年度まで、営業利益率は少しずつ改善。2021年度は一部販管費の高騰により通期予想を大きく下回る4.7%まで低下。2022年度も世界的に原材料、運送費の高騰が予想されており、対前年で改善するものの営業利益率は5.1%となる予想。



### 純有利子負債

2021年度まで設備投資の増加により純有利子負債額は増加傾向。2021年度も自社GE事業におけるライセンス取得や大型の設備投資を行ったことで通期予想より悪化し213億円の増加となった。2022年度は財務体質改善に向けた戦略を積極的に行い、純有利子負債減少を目指す。

### Net Debt/EBITDA倍率

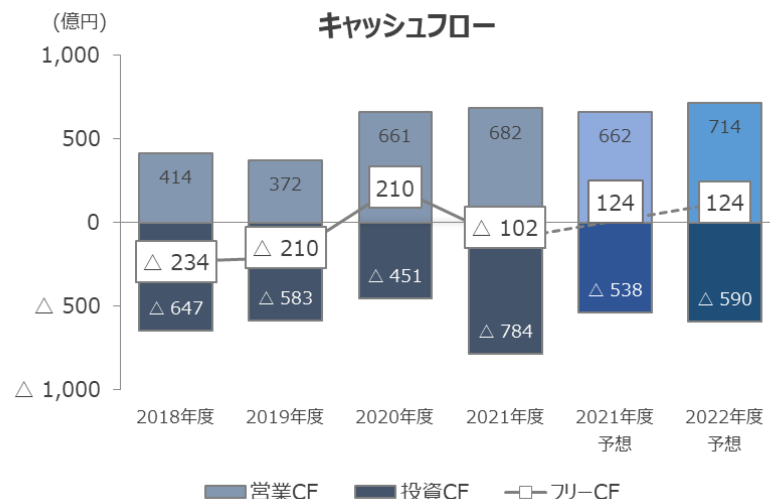
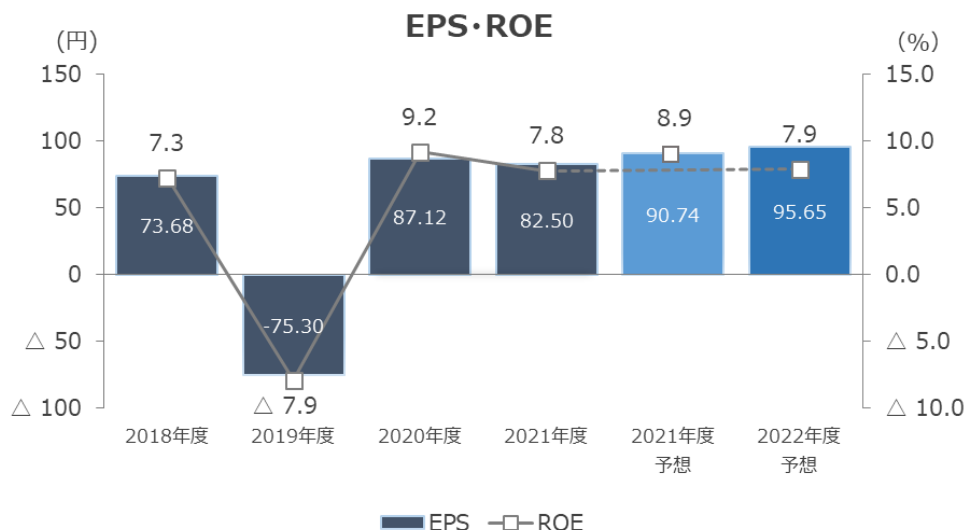
2021年度は、営業減益に加え純有利子負債が増加した影響でEBITDA倍率は通期予想より悪化し6.7倍まで増加。2022年度は利益改善によりEBITDAを強化し、EBITDA倍率は6.5倍まで減少させる予想。

# 中期経営計画における主要KPI - ②

## 2024年度に向けたガイドライン

資産効率 ROE 14.0%

投資効率 フリーキャッシュフロー 黒字化



### ➤ ROE

2021年度は為替差益の拡大で経常利益が対前年増益であったものの、前年は米国統括会社の連結納税開始等の影響で税負担が軽減されていたことから当期純利益は減益。

これにより、EPSは年間82.50円と通期予想を下回った。またROEについても対前年で減少しているが、2020年度は2019年の赤字計上により自己資本が減少していたことが影響した数値であることに加え、2021年度は円安進行による為替換算調整で自己資本が増加したことも影響した数値。

2022年度は売上増加と各種経費の削減により当期純利益で対前年21.5億円の増益を見込んでおり、これによりEPS95.65円、ROE7.9%の予想。

### ➤ フリーCF

2020年度にフリーCFの黒字転換を達成。しかし2021年度は、税引前利益の増益により営業CFは通期予想を上回って推移したものの、自社GE事業におけるライセンス取得費用やニプロファーマの伊勢工場シリンジ新棟取得費用など新規投資支出が大きく増加し、フリーCFは通期予想を下回る102億円のマイナスとなった。

2022年度は、利益増加に伴い営業CFは対前年で32億円の増加予想。また一部不動産の売却によるキャッシュインが見込まれることから投資CFが改善し、フリーCFは再度黒字確保できる予想。



本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。

